

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
実習 3 (REC)											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	新保正博、小林勝行			実務 経験	有	職種	レコーディングエンジニア				
授業概要											
スタジオワーク一連をこなせるよう、機材の選定とセッティング、ミックスを実践していく。学内スタジオのミクサー卓の流れを完全に理解し、現場に合わせた対応が出来るようにしていく。そして、音楽のレコーディングを繰り返し経験することにより、スピードアップして音作りに時間を費やせるよう作業としてのバランス感覚も身につけていく。様々なアーティストとの実録を行い、アーティスト達とのコミュニケーション力も養う。											
到達目標											
マイクフォンの適切な使い方をマスターする。現場さながらのスタジオワークを通して、準備、セッティング、チェック、音作り、レコーディング、オーバーダビング、ミックスといった様々な項目をグループワークにて、各々の役割も把握する。またエンジニア以外のスタッフ、ミュージシャンとも適切なコミュニケーションが取れる。楽器やアーティストの声を聞き分けて適切なエフェクト処理を行い、2ミックスを完成させる。											
授業方法											
アーティストに来校してもらい実習を行う際は、アーティストの立場や作りたい音をよく考え、アーティストに信頼されるエンジニアになるための態度も学ぶ。											
成績評価方法											
課題の内容、提出状況、平常点を総合的に判定する。											
履修上の注意											
音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席すること。											
教科書教材											
必要に応じてプリント資料を適時配布する											
回数	授業計画										
第1回	マイクフォンの確認学内にあるマイクフォンの機能と種類がわかる。										
第2回	デジタル卓復習AXIOMMTの操作方法を通してデジタル卓について復習し、操作できる										
第3回	ドラムのサンプリング音源をつくる様々なマイク、セッティングにより、単音を収録できる。										

## 実習 3 (REC)

第4回	アナログ卓復習スタジオのアナログ卓の操作方法について復習し、操作できる
第5回	ピアノの音を比べる様々なマイクセッティングにより、ピアノのを收音し、聞き比べることができる。
第6回	ミキサー卓全般の確認デジタル、アナログ両方の概念、操作方法が解る。
第7回	マイクロフォンの紹介ビデオ撮影ドラムとピアノに合わせたメーカー別、目的別に班分け、自分のベストセッティングができる。
第8回	リズムセッティング1バンドレコーディングのセッティングがスムーズにできる
第9回	アーティストの立場を研究モニターの研究。アーティストに合わせたモニターづくりができる。
第10回	リズムセッティング2セッティングと回線チェックが素早く、正確にできる
第11回	CD試聴会教員、学生とも良い音のCDをお互いに試聴し、プレゼンできる。
第12回	ボーカルダビングセッティング指定された音源へスムーズにボーカル録音ができる
第13回	バンドセッティング復習4リズムのセッティングを細かく考察する。グループごと素早くセッティングができる。
第14回	ボーカルダビング・エディット録音したボーカルを整音できる
第15回	セッティングタイムトライアル前回の復習を元に、より早くきれいにセッティングができる。

## 実習 3 (REC)

第16回	ギターの音作りギターの音のエフェクトを駆使して音作りできる
第17回	ギターの音作りエレキ、アコースティック、様々なマイク、録りかたがわかる。
第18回	ドラムの音作りドラムの音のエフェクトを駆使して音作りできる
第19回	ミュージックアーティスト科バンドレコーディングフォーリズムのレコーディングができる。
第20回	エフェクター多用なエフェクターを使った音作りができる
第21回	ミュージックアーティスト科バンドレコーディング録音データのエディット、ミックスができる。
第22回	ピアノの音作りピアノの音のエフェクトを駆使して音作りできる
第23回	リバーブ研究サンプリング音源を元に様々なリバーブの音を聞き分けることができる。
第24回	エフェクター2 多用なエフェクターを使った音作りができる
第25回	コンプレッサー・リミッター研究サンプリング音源を元に様々な音を作ることができる。
第26回	レコーディング楽曲レコーディングがスムーズにできる
第27回	エフェクター解説ビデオ作成各自のレポート代わりに作成。

2020年度 日本工学院八王子専門学校

音響芸術科

実習 3 (REC)

第 2 8 回

オーバーダビング録音された音源へ様々な音を適切にオーバーダビングできる

第 2 9 回

まとめと試聴前期のまとめ、各自も持ち寄った音源、音の取り方についてプレゼン、試聴。

第 3 0 回

MIXDOWN各楽器音の関係を考慮しながらミックスダウン。